



1月 調布幼稚園だより

令和6年1月10日



『大きな夢をもち 自信をもって行動できる子に』

新年あけましておめでとうございます

希望に満ちた新しい年を迎えました。今年の干支は辰（たつ）です。辰は、先見の明があり、スケールの大きな夢を持っていると言われます。

調布幼稚園に通う子どもたちが、辰年にふさわしく大きな夢をもち、健康で健やかに成長できますよう、教職員一同、心を合わせて子どもの教育に専念して参ります。

保護者の皆様、地域の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

「大きな夢をもち、自信をもって行動できる子どもに育てる」には、子どもの褒め方・叱り方が大きく関わります。厳しく叱りすぎると子どもは心を閉ざし、自尊心がもてなくなります。

最近、「叱るより褒めよ」と言われます。「〇〇ができるようになったね。お母さんも嬉しいよ」というように、事実を認め、それに対して感じた気持ちを率直に伝えることが大事だということです。子どもは認めてもらえたと受けとめ、安心感をもつことができます。この安心感が自尊感情を育てる上でとても大事なのです。肯定的に見られた子どもは失敗を恐れずにやる気もち続けることができ、共感的にかかわった子どもは自信をもって物事に取り組もうとする態度が育ちます。褒め方・叱り方の基本は、結果を評価するのではなく、やろうとした過程を認めてあげること、頑張ったことを褒めることです。また、叱る際には、やろうとした過程を否定するのではなく、「こうすればよかったね」と、正しい行動を教えてあげることです。子どもが大きな夢をもち、自信をもって行動できる子育てを心がけたいですね。

さて、調布幼稚園は、一年間の仕上げをする三学期を迎えました。

この三学期は、子どもたち一人一人が自分のめあてをしっかりとめるようにしたいと思います。めあてをしっかりとれば何をすればよいか分かります。

年少組は、基本的な生活習慣を再確認しながら、まだ身に付いていなかったことをしっかりと身に付けられるようにしていきます。『自分のことは自分でする』ということを目指にして、なんでも自分でやろうとする気持ちを育てていきます。そして、自分らしさを出しながら幼稚園での生活を楽しくできるようなします。

年中組は、友達との関係性も深まってきており、言葉で自分の気持ちを伝えられるようになってきています。相手に分かるように伝えたり、友達の気持ちを聞いたりして、クラスの友達との心の交流を通して、自分はみんなの中の一人であるという意識をもち、生活できるようにしていきます。

年長組は、自分で目標や課題をもち、いろいろな課題に取り組み、最後までやり遂げる満足感を味わえるようにしていきます。また、自分の感情をコントロールし、友達と心を通わせ合って生活する楽しさを味わわせていきます。残り少ない園での生活を友達と一緒に楽しく過ごすとともに、幼稚園でこれまでに学んだことを小学校の生活に生かせるようにしたいと思います。

進級、進学に向かう過程で、子どもたちは“大きくなりたい”“お兄さんお姉さんになりたい”という希望をもちます。子どものこの“成長したい”という願いを尊重し、自分でやりたいと思うことには共感し、見守る姿勢を大切にしたいと思います。「すごいね、自分でできるようになってきたね」等々、成長を認めながら共に喜ぶ姿勢を大事にしたいと思います。

新しい年が子どもたちにとって、自信をもって行動できる素晴らしい年になるよう願っています。

最後になりましたが、元日の能登半島を襲った大きな地震でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

1月の目標

全学年

- 寒さに負けず、戸外で元気に遊ぶ。
- 冬ならではの自然（霜、霜柱、氷、雪、日陰と日向の温度差など）に関心を持ち、自然の神秘や不思議さを体感する。
- 畑やプランターで育てているものの生長や、収穫を楽しみにする。
- 日本の伝統行事や文化に触れ、興味や関心をもつ。
- 感染症予防のため、手洗いうがいをしっかり行う。

年少組

- 担任やクラスの友達と一緒にリズム遊びや表現遊びを楽しむ。
- 鬼ごっこなどの簡単なルールのある遊びを、ルールが分かってみんなと一緒にすることを楽しむ。
- 友達と一緒に遊ぶ中で自分と同じ気持ちの子や、違う気持ちの子がいることを感じる。
- カルタや凧揚げなどのお正月遊びを通して日本の伝統的な遊びを楽しむ。

年中組

- いろいろな遊びに自分から取り組み、試したり繰り返し挑戦したりして遊ぶことを楽しむ。
- 友達との遊びの中で相手にも思いや考えがあることに気付くとともに、楽しく遊ぶためにはどうしたら良いか考えようとする気持ちがもてるようになる。
- コマやカルタなどのお正月の遊びや、ルールのある遊びを通して、友達とかかわって遊ぶ楽しさや体を使って思い切り遊ぶ満足感や充実感を味わう。

年長組

- コマやなわとび等自分なりに課題に取り組む中で考えたり、試したりしながら自分の力を出し達成する満足感を味わう。
- 課題に個々の力を発揮して取り組んだり一緒に遊びを楽しんだりする中で、互いの力や良さを感じ、認め合う。
- ルールのある運動遊びを通して、チームが勝てるように作戦を考えたり、力を合わせたりしながら、勝負の楽しさや団結する楽しさを味わう。
- カルタやすごろくなどのお正月遊びを通して、日本の伝統的な遊びを楽しみながら数や文字に関心をもつ。

季節の歌 1月

顧問 外崎明美

富士山 文部省唱歌

作詞 巖谷小波

- 1, あたまを雲の 上に出し
四方の山を 見おろして
かみなりさまを 下に聞く
富士は 日本一の山
- 2, 青空高く そびえたち
からだに雲の 着物着て
かすみのすそを 遠くひく
富士は 日本一の山

新しい年を迎えました。日本一と言われる富士の山。飛行機に乗って上空で富士山を見ると、確かに雲を突き破って頭を出して四方の山を見おろしています。

雲より高い位置に頭があるので、雷様の音も下に聞くという歌詞が『なるほど』と思います。

さて、元旦から二日にかけて見る初夢の縁起のよいものに、「一富士二鷹三茄子」という言葉があります。

一の富士は「不死」または「無事」、二の鷹は「高い」または、鋭い爪で獲物をキャッチするので、「夢を実現できる」茄子は「成す」という言葉にかけられており、縁起の良い言葉との語呂合わせでもあるとのこと。

今年もよい年でありますようにと願っています。



カレンダーマーチ

作詞 井出隆夫 作曲 福田和禾子

一月いっぱい雪よふれ
二月の庭にはフクジュソウ
三月寒さにさようなら
四月に小学一年生



九月に栗の実 もう秋だ
十月十五夜 お月様
十一月準備だ 冬が来る
十二月ジングルベル クリスマス



カレン カレン カレンダーマーチ
一年たったら またおいで

カレン カレン カレンダーマーチ
一年たったら またおいで

五月だごらんよ こいのぼり
六月ろうかにてるてる坊主
七月しようよ 水あそび
八月ハアハア あああつい



カレン カレン カレンダーマーチ
一年たったら またおいで



カレンダーマーチの歌を歌うと、雪が楽しみな1月、春の訪れを知らせてくれるフクジュソウ、そして春風が吹いてくると年長さんは小学生に、年少、年中さんはそれぞれ一つ上の学年にと上がっていきます。五月から十二月にかけても、たくさんのお楽しみが待っています。

今年1年間も、このカレンダーマーチの歌のように楽しいことがたくさんありますようにと思っています。